



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



令和5年7月1日号

発行

自民党

神奈川1区支部

発行責任者

平木 茂

7月号

2023年

No.244

松本純ホームページ▶<https://jun.or.jp/>

ご意見箱▶opinionbox@jun.or.jp

ジェネリック医薬品「原薬の中国依存」からの脱却へ

いのちの安全保障 医薬品の価格高騰、抗菌薬の供給不安定で手術延期も

コロナ下でマスクや医療用品不足が大きな問題になりました。その原因は中国依存であり、中国からの輸入が止まったことで、国内の需要を満たせなくなったのです。処方箋薬をはじめとした一部の薬の供給不足が発生しました。その理由としては、ジェネリック大手の品質管理問題と原薬の中国依存が存在します。

少子高齢化社会を迎え、増大する医療費に対応するためには薬の価格を抑える必要があります。このため、ジェネリック薬品(特許が切れた医薬品を後発メーカーが生産)の使用を推奨してきました。2005年に32・5%だったジェネリック薬品使用割合は、21年には79%にまで上がりました。

その一方で、国内で製造される後発薬の中で厚生労働省の調査に協力した企業が製造・販売する9,054品目のうち、4割超に当たる3,955品目は輸入した原薬をそのまま使用。原薬の輸入調達先1,914社の内訳は、中国の364社(19・0%)が最多で、次いでインドが318社(16・6%)となっており、さらに欧州など他国からの輸入品の多くが中国製原薬を利用しています。このため、実態としては中国への依存は表面上のデータ以上といわれています。

なぜ、中国への依存が高まったかといえば、中国政府が国策として原薬など薬の国際シェア拡大に動いていたためであり、国の補助金と支援により、価格面で高い優位性を誇っているためです。しかし、それでは日本人の生命を中国に握られることとなります。

この状況を受けて、松本純が中心になり、2020年度第1次補正予算で、海外依存度の高い原薬の国内製造を促すため、生産設備に対する補助として30億円を計上。厚生労働省が「医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議」を立ち上げ、医療上必要性の高い医薬品の安定供給を確保するための方策について検討を進めています。

現在、米国政府は、必須薬を国内製造する製薬会社フロウと、3億5400万ドル(約379億円)で4年間の供給契約を締結し、中国で製造された原薬を含む医薬品の購入を制限する「Protecting Our Pharmaceutical Supply Chain from China Act of 2020」(我々の医薬品サプライチェーンを中国から守る法律)や、製薬企業に製造の中国依存度を開示するよう求める「Strengthening America's Supply Chain and National Security Act」(米国のサプライチェーンと安全保障を強化する法律)を制定しています。

日本でも同様の対応が必要になっています。米中対立、台湾有事など中国をめぐるリスクが顕在化する中で、日本人の「いのちの安全保障」が必要になっています。松本純は政治家として数少ない薬の専門家でもあり、この問題に対処してゆく所存です。



ジェネリック医薬品の危機的な状況を語る日本薬剤師会・山本信夫会長

ジェネリック医薬品(後発医薬品)とは、先発医薬品と同一の有効成分を同一量含み、同一経路から投与する製剤で、効能・効果、用法・用量が原則的に同一であり、先発医薬品と同等の臨床効果・作用が得られる医薬品。ジェネリック医薬品を普及させることは、患者負担の軽減や医療保険財政の改善に資することから、政府は使用促進のための環境整備を進めてきました。

【2023年5,6月】

松
本
純
の
活
動
記
録

5月21日 ● 鎌倉館関東地区本部創立55周年・日本太極拳友会
創立45周年・2023創立記念交流演武大会開会式
25日 ● 協同組合元町SS会令和5年度通常総会懇親会
27日 ● 横浜金沢文化協会通常総会
● 令和5年中区薬剤師会定時総会
6月 1日 ● 医薬化粧品産業労働組合連合会要望
3日 ● 横浜インスポ倶楽部第63回インディアカ大会式典

7日 ● マンション計画修繕施工協会第15回定時総会・懇親会
8日 ● 神奈川1区内郵便局長との懇談会
9日 ● 神奈川県社会保険労務士会・政治連盟令和5年度通常総会懇親会
10日 ● 神奈川県郷友会令和5年定期総会・懇親会
● 町屋睦例会
13日 ● 吉田町町内会・名店街役員会・市況研究会
15日 ● 山純会



5/31 横浜市造園協会第46回通常総会 ● 二部の「ハマの緑を育むついで」で田澤重幸会長の挨拶に続いて公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会(花博)の河村正人事務総長の来賓挨拶がなされました。河村さんは、私が防災担当大臣の時に国交省から出向されていて大変お世話になり、支えていただきました。



6/1 神奈川県鮭商生活衛生同業組合令和4年度第66期定期総会後の懇親会 ● 新理事長に就任した大山康正理事長より、前任の田邊好光前理事長と歩んで来た当時の思い出と感謝の言葉が述べられました。



6/3 神奈川県神輿保存会道場祭 ● 鈴木正弘神奈川県神輿保存会会長や県内の神輿会の方々から寛政町を練り歩きました。松本純は林辰男筆頭顧問のお宅で林道男名誉会長のご仏壇にお参りました。



6/3 草間剛氏が支部長就任挨拶 ● 草間剛氏が自民党神奈川19区支部長に選任されました。草間剛氏は自民党市議を3期12年務め、このたび新設された神奈川19区の支部長となり衆議院に挑戦することになりました。



6/4 六浦西地区フレンドまつり ● 約4年ぶりに大道小学校内で開催されました。松本は六浦西地区各町内会のテントブースを訪問し、町内会長、町内会員、消防団の皆さんに開催のお喜びを申し上げました。



6/5 第24回早朝駅頭広報活動 ● 元気に通学する学童・生徒を見送りながら、次の時代を託せるよう今やるべきことを形にしなければと思いました。活動終了後はお元気になった橋本亨氏と政治談話となりました。



6/5 自民党横浜市連大会 ● 島村大市連会長より統一地方選挙の報告がなされました。また国会議員、支部長紹介では松本純などの一言挨拶がなされ、山下正人幹事長より選挙報告がなされました。



6/12 野毛通り会定期総会 ● 洋食ムラで開催、酒井芳隆会長より4年ぶりとなる総会の開会挨拶がなされました。総会の議案は全て承認され、顧問を務める松本純からは野毛の街づくりの歴史などが語られました。

永田町日記 「第15回松本純政経セミナー2023」開催

麻生副総裁

「横浜から政権を担える政治家を選んでほしい」

4年ぶりとなる「第15回松本純政経セミナー2023」が6月12日、横浜ベイホテル東急で開催されました。松本純前衆院議員は「次の勝利のため全力で取り組んでいく」と力強く決意表明。会場を埋め尽くした支援者らから万雷の拍手が送られ、来るべき総選挙に向けた華々しいキックオフとなりました。

セミナーでは自民党の麻生太郎副総裁、谷川とむ大阪府支部連合会会長、経済評論家の渡邊哲也氏の3人の講師が登場。麻生氏は日本を取り巻く安全保障環境の変化を解説し「岸田政権は時代に合わせて着実に適応している」と強調。「今の状況に対応できる政治家を横浜でも選んでほしい。松本に戦える力と働く場を与えていただきたい」と呼びかけました。

谷川氏は大阪の政治・行政の現状を紹介。維新は選挙では注目を集めているが「大阪での

実態は経済の停滞や教育の質の低下を招いている」と訴えました。「お金の視点から政治を語る」と切り出した渡邊氏は「地元の実績がある議員を支援することが経済の活性化につながる」と話しました。

最後にあいさつに立った松本純は「たくさんの皆さまにお集まりいただき心強い」と謝意を示すとともに「まだやり残したことがある。国のため、地元のために力を尽くしたい」と再起を誓いました。出席者の期待と熱気が会場を包みました。

